



MEBIC  
CREATIVE NETWORK CENTER OSAKA

2016年6月23日

my home town  
わたしのマチオモイ帖  
News Release

## 新企画、「ポストカードで届ける一枚のマチオモイ」 2017年のゆうちょ銀行オリジナルカレンダーに、最大48作品採用へ

～6月23日から7月19日まで作品募集。12月の完成に合わせ、特別展も開催決定～

クリエイター(\*)支援施設「クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町」(所在地:大阪市北区 所長:堂野 智史、以下メビック扇町)と、わたしのマチオモイ帖制作委員会は、「マチオモイ帖」と「ゆうちょ銀行」との共同企画『ゆうちょマチオモイカレンダー2017』の制作に向け、全国47都道府県の作品掲載を前提に、ポストカード1枚のみで表現するマチオモイ帖作品を新たに募集します。また、同カレンダーの完成、約60万部の配布が全国で開始される12月に合わせ、メビック扇町で特別展「ポストカードで届ける一枚のマチオモイ」の開催を決定しました。

※クリエイターとは、プロのデザイナー、写真家、イラストレーター、映像作家、コピーライター、編集者などを指します。

「マチオモイ帖」は、日本各地のプロのクリエイターが、生まれ育ったふるさとや学生時代に過ごした町、今暮らす町など、思い入れのある町やそこに住む人への想いを、写真やイラスト、文章などで綴った冊子や映像の総称です。東日本大震災が発生し、誰もが足元を見つめ直した2011年に始まり、今では全国から約1,200帖が寄せられる一大プロジェクトに発展しました。

この“町を想う”というアプローチが、全国約24,000箇所、人口減が著しい離島や過疎地にも点在する郵便局の原点に通じると、2013年にコラボレーションが実現。以来、「ゆうちょマチオモイカレンダー」を計4冊制作。地方の新聞で取り上げられたり、増刷の要望がでたりするなど、各地で好評を得ました。



### ■マチへの想いを、ポストカード一枚に描く、撮る、綴る。

5冊目の共同制作となる2017年版は、「いつもここに。」あるゆうちょ銀行を、より一層身近に感じてもらうと、全国47都道府県を網羅する最大48作品を掲載。特集ページには、掲載地域の郵便局長の「マチオモイ」を掲載するなど、ゆうちょ銀行も力を注ぐプロジェクトとして、制作に取り組みます。

6月23日より全国のクリエイターを対象に、手に取る人の気持ちを明るくし、町から町へ、人から人へ、あたたかい想いの架け橋となるような作品を広く募集します(詳しくは、添付資料参照)。合わせて、12月から来年1月にかけて、特別展「ポストカードで届ける一枚のマチオモイ」を開催。カレンダーへの採用は限られていますが、特別展では、寄せられた全作品を展示します。ポストカード1枚という制限のなかで、プロのクリエイターならではの高い表現力・発信力によって、誰もが心を持つマチオモイを、より多くの人々に届けます。

#### 本件に関するメディアからのお問い合わせ先

クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町 広報担当:松井  
〒530-0025 大阪市北区扇町2-1-7 カンテレ扇町スクエア3F  
TEL:06-6316-8780(平日10:00~21:30) FAX:06-6316-8781 e-mail:info@mebic.com  
ホームページ: <http://www.mebic.com/>  
マチオモイ帖プロジェクトに関する詳細情報は、以下を参照ください。  
わたしのマチオモイ帖ホームページ <http://machiomoi.net/>

## ■マチオモイ帖について

マチオモイ帖は、日本全国のデザイナー、写真家、イラストレーター、映像作家、コピーライター、編集者などのクリエイターが、自分にとって大切な町、ふるさとの町、学生時代を過ごした町や、今暮らす町など、日本各地に眠る無数の価値を、それぞれの思いと共に小冊子や映像にして紹介するものです。2011年、大阪在住のコピーライター村上美香氏が故郷「広島県尾道市因島重井町」をテーマに制作した『しげい帖』がクリエイターの間で共感と呼び、同年メビック扇町で34作品の展示会を初開催。今では全国から約1200帖が寄せられる一大プロジェクトに発展しました。多くの人たちの人や地域や社会に対する思いが重なり合い、ゆるやかであたたかい共感の輪が広がり続けています。



## ■参考資料(同封)

- ・作品募集要項